

### 夏まつりが盛大に開催！ 慶野・福良



▲8月13日の福良盆踊り(阿波踊り)。特色ある18組の連が参加して賑わいました

猛暑となった今年の夏、慶野松原と福良をはじめ各地で夏まつりが盛大に開催されました。参加する人、観る人、まつりを支える人々の熱い力が集結して、今年も最高潮の盛り上がりを見せました。



市民まつりの慶野松原花火大会と福良湾海上花火大会では、多くの協賛を得て、豪快な花火が打ち上がりました。

▲海上からの大輪の花火(7月24日、慶野)

▲「大綱曳」本番前に行われた子ども参加の綱曳き。(8月14日、福良)

### 学生海外派遣団が帰国

ステイ先での交流や貴重な体験の感想を発表しました。



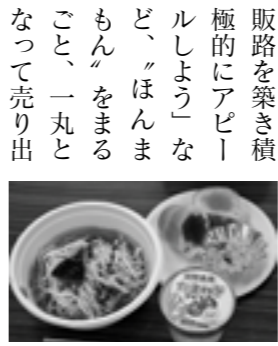
▲セライナ市から贈られたTシャツを着て報告会に出席した派遣団のメンバー

### 農業シンポジウム開催



▲マーケティングの専門家や農業の研究者、販売者や都市生活者を含めた7人を招いて開かれた公開討論会(パネルディスカッション)

農業で生き抜く手法を考えてみよう！「売り出そう！南あわじ農業シンポジウム」を8月18日、三原公民館で開催しました。公開討論会では「文化や風土など、違いや良さ」を独自の「積極的」に盛り込んで売り出してはどうか、「農業観光の地を目指してはどうか」「農山村の環境見本となつて、心をつかむ農産物づくりをしよう」「適切な購買客への



▲試食会で出された品々

また、市内で農産物の加工開発に挑戦する人たちが作った食品の試食会では、玉葱のアイスクリームやジャム、米粉を使った麺や蒸しパン、びわジャムを試食してもらい、感想を記入してもらいました。

### 日韓中学生サッカー交流

#### 淡路島からサッカー選手団派遣



▲交流をした日韓両国の選手たち

淡路島と韓国南海島(郡)では、両島民の交流事業として、昨年度から「淡路島・南海島サッカー交流事業」を行っています。今年も韓国南海島の南海スポーツパークで交流し、淡路島内から選ばれた選手団21人(中学2年生)が参加しました。南海郡では学校訪問や交流試合、選手同士の交流会などが行われました。交流試合の結果は、第1試合が淡路島3-4南海郡、第2試合では淡

### 淡路地域水道事業統合記念式典

島内3市の水道事業が今年4月1日、「淡路広域水道企業団」に統合し、島民に安全で安心な水を安定して届ける事業経営が行われています。

8月7日には、より一層の効率化と安定経営に努めることを内外に示す統合記念式典が洲本市で開催されました。統合の経緯や意義、功労への感謝を伝える式典が催され、続いて「やっばり安心、水道水が見直されてきている」として、法政大学生命科学部



▲「水道水を見直そう」と講演する左巻教授

環境応用化学科の左巻健男教授による記念講演が行われ、水道水の重要性について話しました。

### ふるさと南あわじ応援寄附金

区分	件数	金額
南あわじ市内	330件	44,198,219円
市外(島内)	47件	5,871,000円
市外(島外)	207件	27,534,940円
合計	580件	77,604,159円

寄附状況の公表 (8月16日現在) 詳細は市のホームページで掲載しています

### ふるさと納税



▲プレーする選手たち

ご寄附ありがとうございます。

### 看板で下水道加入促進

市では下水道の「宅内工事中」を示す看板を作製しました。これは、実際の工事現場に表示して、看板を見た人に、下水道接続工事への理解と関心を持ってもらい、加入促進につなげるために作製しました。この看板は、8月から宅内工事業者が工事申請しました。市ホームページでも「海外学生派遣団」「夏まつり」の写真を紹介しています。また、ケーブルテレビでは「農業シンポジウム」や「福良盆踊り」の様子が放送されます。



▲縦60cm×横90cmの看板

### ふれあい市長室

#### 総合的判断から新庁舎建設を決断

南あわじ市長 中田勝久

新庁舎建設基本計画の説明会を4月から5月、市内21地区や各種団体の総会等で開催させていただきました。説明会では、色々なご要望やご意見をいただきました。そのご意見を真摯に受け止め、①伝統的見地、②淡路瓦の利用可能性、③淡路瓦の活用、④無休での窓業務の検討、⑤障害者の皆様が働く売店や食堂の併設、⑥建設工事や設計業務への地元業者の参加、⑦地域活性化に繋げるため分庁舎跡地の有効活用を地域と共に協議、⑧市民交流センターの利便性を高める、などを再検討し、基本計画を修正いたしました。新庁舎の必要性は、繰り返し申し上げておりますとおり、①5庁舎1棟の中で約6割の建物の老朽化が目立ち、震災への対応を急がなければならぬこと、②複数の担当課にわたる事務を市民の皆様が各庁舎を回るのではなく、1か所に対応できるようにするとともに、職員定数の適正化を行い、新庁舎建設による毎年約2億円のコスト削減を実現させ、財政健全化や住民サービスの向上に努めなければならぬこと、③合併特例により事業費の約3分の2の費用が国から交付される合併特例債の期限が合併後10年であり、平成26年度完了が期限であるため、これを逃すと約11億円が削減されること、④市民交流センターを設置し、市民サービスの低下を招かないよう簡易な窓口業務や活動支援体制を整え、独自性のある地域が自ら「地域づくり計画」を策定し、市民同士が支え合い、きめ細かな活動を推進する必要があること、⑤長期的に考えると、淡路島3市の合併の可能性を捉え、各市には核となる庁舎が必要となることなどが挙げられます。私は、市長として南あわじ市の将来を真剣に考え、総合的に客観的に判断した結果、新庁舎建設に踏み切ることにさせていただきます。現在市議会でも十分協議をお願いし、審議をいただいております。市民の皆様におかれましては、南あわじ市の未来を考慮いただき、熟慮に熟慮を重ねた決断にご理解賜り、ご協力いただきますようお願い申し上げます。